

何を使う

機器 デSKTOPパソコンまたはタブレット、スマートフォン
ソフトウェア (アプリ)

プログラぶっく (カード型プログラミング学習システム)、プログラミングステップゼロ (ベネッセ無料教材)、ジャストスマイル

それをどう使う (それで何ができる)

プログラぶっく

- 課題に応じて、「1マス進む」「右を向く」などの指示が書かれた紙のカードを並べ、スマートフォンなどで読み込むことにより、画面上で指示どおりにキャラクターが動く様子を確認することができる。

プログラミングステップゼロ

- パソコン等の画面上で、指示が書かれたブロックをつなげ、キャラクターを操作するなどのプログラムを簡易的に行うことができる。
- コンピュータに意図した処理を行わせるために、ブロックの組合せや、改善策を考えるなど、論理的な思考の基礎を学ぶことができる (プログラミング学習用ソフト「Scratch」の基本的な操作の要素が含まれている)。

ジャストスマイル (はっぴょう名人)

- 動きのあるスライド資料やポスターを作成できる。
- マイクから録音した音声等を資料作成に活用できる。



【「プログラぶっく」のカードを読み込む様子】

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

小学校 総合的な学習の時間

【 Before 】

- 探究の過程を通じた学びを、発表やプレゼンテーションでまとめ・表現する。

**【 After 】 発達の段階を踏まえ、段階的にプログラミング的思考を生かした活動を行う****【低学年】**

- 「プログラぶっく」の紙のカードを活用し、操作活動を行うことで、自分の考えを順序立てて説明する力を育成することができる。

【中・高学年】

- 「プログラミングステップゼロ」を活用することで、Scratch の操作に慣れるとともに、プログラミング的思考の概念を育成することができる。

【高学年、中学校】

- 「ジャストスマイル」のプレゼンテーション資料作成の機能を活用することで、プログラミング的思考を生かし、論理的に表現する力を育成することができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	○	スライド資料の提示に大型提示装置		○	○	○
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続	○	1人1台端末		○
活用が想定される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等	生活科、総合的な学習の時間		
	○	○			活用が想定される場面	プログラミング教育、プレゼン資料の作成		